

編輯室の内外

▽一年に一度は遭はなければならぬ梅雨期であるにしても、鬱陶しいこと夥し、夫れ内閣はいつ變るか判らないと言ふ空氣も

手傳つて一層の陰氣さである。併し好事家は一層變つたら陽氣になると判するが、又候の變態内閣では變りばえが無いので、夫れを思ふと矢張り陰鬱だ。

▽倒れむとする内閣が、十年度豫算編制方針を決定した、御節介なこと。非常時を控えての國家には幾多の對策を必要とし、新政策の樹立が肝要であつて是等は新年度豫算に表はれるのが當然であるのに、発表された豫算編制方針は、濱口消極居士の内閣時代のものと全然同一であるのは、風前の燈火然たる内閣に新味のない徵象であつて、屬僚政治の表はれと評したい。

▽時局匡教事業は當初三年限りと聲明してある筈だと、書つたつて、三箇年間に要する總事業費を示さないで、三年と言つても何等の制限にはならない、從つて地方匡教事業の跡始末に要する經費を要求するのは當然、夫れに國家は赤字公債の苦惱中だ

から地方を構はないと言ふのは、國家の在るを知つて國家が地方に立脚して存在してゐることを知らない偏見と言ふべく、夫れならなぜ赤字公債を發行して匡教事業を起したかを詰りたい。

▽早くも道路豫算が難路に立つと唱えらる、其の譯を聞けば從來からやつて來た道路事業は、どこで打切つても損は無いからだと言ふ、成る程、土方式の眼で見るときは、一町の道路を捲えれば一町だけを使える譯だ、併し夫れだけでは物の經濟的效果を擧げ得ない、一町だけの效果で捨てるか夫れとも、一町のものを十町の效果あらしむるまで繼續するか、其の利害得失は大藏當局の判断を俟つまでもないが、所謂豫算編制方針なるものが、そこまで考へてゐないのは氣の毒だ。

▽稗を喰つて生活してゐる東北人間が、米を喰つてゐる東京人の生活を贅澤だと書つた。泥濘膝を没する道路を歩いてゐる人間が、近代鋪装道路を視て贅澤だと言ふのと同一で、人間生活のレベル下に在るものが、文化生活を評價することは往々にして間違を起す、是等の連中に對して近代道路經濟

學を吹き込むことは至難中の難だ、併し弘前市の國道を鋪装して呉れと陳情したそらだから、筆者が推量する程でないかも判らないが、世にはまだ推量せらるゝ程の人間が居るのは歎かはしい。

▽本會の新年度事業は既報した通りに確定した、其の中の一つの道路講習會は七月末から開かれることに爲つた隔年毎にやつてゐる仕事ではあるが、今歲は新館内務省の大會議室で開くので暑いとは言ふものゝ樂に聽講も出来るだらう、講師も新顔を揃えた、從つて新味を多分に藏する一層講習會の效果を擧げ得ることであらう。

定 價 一 部 五 十 錢
一 ケ 年 分 金 六 圓

東京市麹町區外櫻田町一番地 内務省内

發 行 所 (社團) 人道改良會 東京市澁谷區幡ヶ谷町三丁目三五六

編 輯 者 小 島 效 東京市小石川區諏訪町五六

印 刷 所 堀 江 關 武 常磐印刷所